

# 新規事業 2023 学校横断型教育プログラム 高校教育課

## 学校横断型教育プログラムとは？

県立高校の生徒が、**学校の枠を越えて**、卓越した指導力を持つ教員の講習を受けたり、他校生徒と協働して学習活動を行ったりするなど、ICTの活用により、**県立高校が持つ教育資源**を最大限に生かし、生徒の希望進路や興味・関心に応じた**多彩な学習機会**を提供します。

学校横断型教育プログラム

## 難関大学進学希望者向けオンライン講座【受講料無料】

| 日時・配信高校      | 午前              | 午後                        |
|--------------|-----------------|---------------------------|
| 8月2日（水）福岡高校  | 【現代文】野田 猛 教諭    | 【古典】一柳 年彦 教諭              |
| 8月3日（木）筑紫丘高校 | 【英文読解】町居 慎一郎 教諭 | 【リスニング】レイク 典子 主幹教諭        |
| 8月4日（金）修猷館高校 | 【理系数学】高木 圭介 教諭  | 県立高校卒業生によるメッセージ<br>(動画視聴) |
|              | 【文系数学】波多江 憲治 教諭 |                           |



**県立高校の生徒**は、学校で貸与された1人1台端末を使用して、**学校の枠を越えて同じ志を持つ仲間と共に学ぶ**オンライン講座を受講することができます。申込みや課題の配布、授業後の資料の配布なども全てオンラインで行い、今回実施した、難関大学の受験指導に卓越した教員によるオンライン講座では、各教科の受験対策に留まらず、各教科における学習の意義や学習方法のアドバイスなども行われました。

○対象：県立高校2・3年生、県立中等教育学校5・6年生、教員

**3日間の延べ受講者数：生徒185名・教員123名（33校）**



### 応用問題に挑戦

東京大学・京都大学の2次試験を想定

### 応援メッセージ

難関大学に在籍する県立高校卒業生からのアドバイス

### 学校がつながる

1人1台端末で学校の枠を越える

### 同時双方向型の実現

離れていても質疑・応答が可能に

### 【難関大学進学希望者向けオンライン講座】の感想を紹介します！

英語の読解やリスニングのポイント、英単語等を学べただけでなく、本やリスニングのサイトなど、自学に役立つ情報をたくさん知ることができ、とても有意義な時間になりました。  
(高校3年生)

自分一人で学習する際に気づかない語の成り立ちや別の用法など、自学で意識すべきポイントを学習することができました。(高校3年生)

今回、他校の授業にオンラインで参加することができ、同じ高校生が受け答えしている様子を見て、良い刺激になりました。(高校2年生)

生徒満足度

非常に良かった  
良かった  
**100%**

教員満足度

非常に良かった  
良かった  
**98%**

県立高校にはICTを生かした充実した教育環境があります  
 ■全生徒にタブレットを無償で貸与 ■全クラスにWi-Fiを完備  
 ■時間と空間の制約を越えての交流が可能

### 学校横断型教育プログラム

- 難関大学進学希望者向けオンライン講座
- ALTオンライン英会話
- 生徒会協働オンライン・ミーティング

の紹介は高校教育課ポータルへ！

福岡県 高校教育課ポータル

検索

<https://www.edu.pref.fukuoka.jp/Default2.aspx>



# 知の創造塾 2023

「ふくおか高校生 知の創造塾」  
高校教育課

## 「ふくおか高校生 知の創造塾」とは？

九州大学の先生がファシリテーター(学びの伴走者)となり、高校生が学校や学年の枠を越えて議論しながら、答えのない問題について最適解を探る「課題解決型学習プログラム」です。事業の原型となる「ハイレベル合宿」から今年で18年目を迎え、今年度から事前学習や議論等で1人1台端末を活用し、さらに深い学びを実現する取組へと進化しました。

### 4年ぶりに合宿形式で実施！～1人1台端末を活用して、現代社会の答えのない問題に挑んだ3日間！～

今年の「ふくおか高校生 知の創造塾」は、県立社会教育総合センター(糟屋郡篠栗町)にて8月16日(水)～18日(金)の3日間、4年ぶりの合宿形式で実施しました。県内から公募選出された121名(45校)の意欲ある高校生が参加、また、県立高校の先生16名がティーチング・アシスタントとして生徒の学びをサポートしました。

生徒は、3日間の合宿をとおして、与えられたテーマについて徹底的に考え抜き、議論を重ね、最適解を導き出します。最終日には、テーマごとの発表を行い、さらに考察を深めることで、まさに「知を創造すること」を実感するプログラムとなっています。

【ふくおか高校生 知の創造塾メインテーマ】

## 学びの深化と知の創出 —どのように学ぶか？—



### 自ら知を創り出す！今年度はICTを活用して挑戦！

九州大学の先生は、議論となる材料を与えるのではなく、学びの伴走者として、問題解決のための視点や的確な助言をとおして、生徒たちの意見を引き出します。生徒たちは、模造紙やホワイトボードなどを活用して自分たちの意見を整理し、各テーマの課題について熟考・熟議を行い、考えを深めていきました。

何とんでも今年度の新たな取組は「1人1台端末の活用」です。資料を集めるのにインターネットを活用するのはもちろん、最終日に各チームで議論した内容をまとめて発表するとき使用するスライドも、クラウド上で共有しチーム全員で共同編集しました。

最終日の発表会では自分と異なるテーマの発表を聞くことで、1つのテーマについて多面的な見方や考え方があることを知り、自ら創り出した「知」について振り返ることができました。

### 合宿初日の仲間づくりレクリエーション！

コロナ禍で対面での自己表現を行う機会が減っていたことから、今年度は合宿初日に「仲間づくりレクリエーション」を実施しました。レクリエーションに楽しく参加しながら、多くの仲間と交流することはもちろん、自分の意見を伝えることやチームで協力して物事を成し遂げることの大切さなどを体感し、各テーマの議論に向けての準備を行いました。



### 熟考!と熟議!!

チームで話し合い  
自分たちの意見を整理



### 発表会

スライドでの発表、質疑・応答



### 8つのサブテーマ

現代社会の課題を把握

### 1人1台端末の活用

クラウド上で情報を共有

### 【ふくおか高校生 知の創造塾】の感想を紹介します!

多くの材料をまとめあげ、同じ班の人達と話し合う時などに自分の意見を論理的に、説得力を持たせて相手に伝えることを大切にしました。その過程で力がついたと感じています。(高校3年生)

先生のように分かりやすく話す人、司会のように語りかけながら話す人など、それぞれ発表の仕方が違い、いい意味で今までのプレゼンテーションの固定概念が壊されました。(高校2年生)

### 【ふくおか高校生 知の創造塾8つのサブテーマ】

- よき有権者をどのように育成すべきか
- ポストコロナの働き方を考える
- バイオエシックス(生命倫理学)の視点から捉える生死
- 食糧生産と生物多様性について考える
- 障がいをめぐる問題から誰もが生きやすい社会について考える
- ものごとを先延ばしにする「先延ばし癖」について考える  
(以下2テーマは英語で実施)
- Towards creating a resilient society from the disaster mitigation perspectives
- Community Building and Global Citizenship Development